

授業科目名・形態	基礎看護技術演習 I	演習	必修・選択の別	必修	
担当者氏名	小畑千春・小玉光子・黒澤繭子 千葉孝子・高山新吾・伊藤洋介	開講期	1年前期	単位数	1

【授業の主題】

基礎看護技術論 I で学んだ日常生活を営む上で必要な援助に関する知識や技術を活用し、日常生活援助を安全・安楽に実施するための看護技術の実際を学ぶ。

【到達目標】

1. 日常生活の援助に関する基礎知識とその根拠を理解できる
2. 日常生活の援助（快適な環境整備、食事、排泄、活動、休息、清潔）を安全・安楽に実施するための基本技術を習得できる

【授業計画・内容】

- 第 1 回 オリエンテーション 手洗い方法・演習における留意事項など
- 第 2 回 環境調整技術(1) 環境調整、ベッドメイキング
- 第 3 回 環境調整技術(2) ベッドメイキング
- 第 4 回 活動・休息援助技術(1) 基本的活動の援助 体位・体位変換
- 第 5 回 活動・休息援助技術(2) 移動、移乗・移送
- 第 6 回 ヘルスアセスメントの実際(1)バイタルサイン測定①
- 第 7 回 ヘルスアセスメントの実際(2)バイタルサイン測定②
- 第 8 回 ヘルスアセスメントの実際(2)バイタルサイン測定③
- 第 9 回 清潔・衣生活援助技術(1)部分浴（手浴・足浴）
- 第10回 清潔・衣生活援助技術(2)洗髪
- 第11回 清潔・衣生活援助技術(3)清拭
- 第12回 清潔・衣生活援助技術(4)衣生活の援助
- 第13回 排泄援助技術(1)床上排泄
- 第14回 排泄援助技術(2)浣腸、陰部洗浄
- 第15回 看護技術の総合演習

【授業実施方法】

演習

【授業準備】

基礎看護技術論 I を復習し、授業内容に関連した教科書の章及び「写真でわかる実習で使える看護技術」の章を十分に読んで演習にのぞんでください。

【主な関連する科目】

総合科目、専門基礎科目、看護学概論、基礎看護技術論 I

【教科書等】

基礎看護技術論 I と同様

【参考文献】

基礎看護技術論 I と同様

【成績評価方法】

技術チェック(95%)、出席状況・演習態度・課題レポート(5%)より総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

看護技術の基本となりますので、予習・復習をしっかりと行ってください。特に技術は授業時間以外でも何度も練習をして体得してください。患者さんに安全で安楽な看護技術を提供できるよう知識・技術を習得してください。教科書の付録の動画や、図書館にある視覚教材を利用しても良いと思います。